

函西ワールド発進

第73回秋季北海道高校野球大会函館支部予選(道高野連など主催)は10日、函館オーシャンスタジアム(千代台町)で開幕し、Aブロック1回戦1試合を行った。

秋の高校野球予選

函館支部

新型コロナウイルスの影響で夏は代替大会となったため、選手たちは来春の全国大会を目指して熱のこもったプレーを見せた。(野口今日子)



⑤(渡島連合→函西) 四回無死満塁、2点適時打を放ち、ガッツポーズをする函西の嵐



函西は大野農・八雲・七飯の渡島連合に11-1で五回コールド勝ちした。第2試合の函中部→函工は四回途中で降雨ノーゲームとなり、第3試合とともに11日に延期された。同日行われる予定だったBブロックの3試合は15日に順延した。函西は1点を追う初回、4番大貫が中越え適時打を放ち同点とした。四回には

▽Aブロック1回戦
大野農・八雲・七飯
1000X0
10271X111
函 西 (全回コールドゲーム)
①大住 一吉
②西村 十葉
③三島 大貴
④二島 西村

◇ 函館支部(函館オーシャンスタジアム)

Aブロック	
11-1	18日10:00
11-10	11日10:00
20	10:00
11	12:40
18	12:40
Bブロック	
15	8:30
19	10:00
15	11:10
20	12:40
15	13:50
19	12:40

西 七 斗 有 大 斗 大 斗 大 斗
函 函 函 函 函 函 函 函
大 野 農 八 雲 中 函 函 函 函 函 函 函 函
市 野 中 野 野 野 野 野 野 野 野
知 函 函 函 函 函 函 函 函
市 市 市 市 市 市 市 市
函 函 函 函 函 函 函 函

夏に続き静かな開幕

原則無観客 大声援禁止「寂しい」

10日開幕した秋の支部予選は夏の代替大会に続き、新型コロナウイルスの感染拡大防止のためスタンド観戦は部員の家族や控え部員などに限定し、原則無観客で行われた。観戦がなくなった選手の保護者は大会開催を歓迎したが、スタンドの声援は静かで「来春こそは元に戻してほしい」との声も上がった。全校応援ができないため、吹奏楽部による演奏や応援団などの声援はない。スタンド席に入れる観客を



試合結果は「アツしん電子版」、道高野連のホームページと携帯サイトで速報します。

3安打と四死球や敵失など打者12人の猛攻で一挙に7得点し、試合を決めた。渡島連合は初回、4番大住の左前適時打で先制したが、後が続かなかった。チームも自身も成長実感 函西は2018年の春の支部予選以来の1勝を挙げ、主将高瀬(2年)は「真」は「チームの成長を感じる事ができた」と喜んだ。新型コロナウイルスの影響で「次戦もこの勢いに乗って勝利をつかみたい」と意気込んだ。

(47)は「選手の勇姿を見ることができるだけうれしい。でも、いつもより観戦者が少なくて寂しい」と話した。同支部はメガホンの持ち込みや大声での声援を禁止し、代わりに拍手での激励を勧めている。函工の後藤伸之介選手の父・雄さん(47)は「叫んで応援できないのは物足りない感じ。いつも通りに応援できる日が早く来てほしい」と話した。(和田樹)